



20矢土木第281号

平成20年10月17日

国土交通省 道路局長 殿

福岡県八女郡矢部村長 中 司 謙 治



今後の道路行政についての意見・提案について

平成20年9月19日付け国道企第37号により依頼のありました標記
のことについて、別紙のとおり送付致します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政について改善すべき点、要望や提案など

福岡県 矢部村

私たちの村は、中山間地域であり公共交通機関も少なく、車は社会生活の中で最も重要な必需品であり、各家庭は個人毎に車を所有し、車なしの生活は考えられないのが現状であります。

しかしながら、道路現状はきわめて劣悪であり、拡幅・線形をはじめとする改良・改修が早急に必要である。

また、山間地域での日常生活、社会活動には、経済的高負担が強いられており、道路行政における地域間格差の是正を強く求め下記のことを提言致します。

記

1. 既設ICや、公共交通機関、空港へのアクセス道の整備
2. 防災、防除工事に併せての拡幅線形修正等の改良工事の効率化
3. 道路整備における、情報の早期提供、工事の早期着工、竣功
4. 山間部における、地域に即した道路整備の充実（採択基準の緩和）
5. 山間部における共同溝の設置（電気、電話の地中化）

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②－１ 地域の現状と抱える課題

福岡県 矢部村

○現状

- 国県道の防災工事等では、道路の改良（拡幅等）ができない
- 中山間地域では、公共交通機関が十分でない
ので、個人毎に車を所有し、住民の移動手段
となっている。
- 本村の日向神ダム周辺の国県道は５０年ほど
前に建設され、一部分は改良されているが、大
部分は当時のままであり、急カーブが多く交通
事故が頻繁に発生している。

○課題

- 防災工事等では、防災のみを考慮し工事が実
施されており、今後は総合的（改良等を）に
考えて工事を実施すること。
- 中山間地域は人口が少なく、道路の整備は遅
れがちである。
しかし、公共交通機関が不足している地域こ
そ、道路（特に急カーブの解消）を整備する
こと

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②－２ 地域の目指すべき将来像

福岡県 矢部村

○道路網は、人間の血管と同じで、隅々まで十分に行き届かないと支障をきたすことになる。よって、計画的に、住民生活に支障をきたさないように道路の建設をお願いしたい。